



第4回ゼロマラリア賞を受賞した南山舎の大森一也出版部長（左）と川平いつ子さん（右）＝25日、東京・銀座のバグースプレイス

故南風原さんに ゼロマラリア賞 NPOが表彰 南山舎とともに



南風原英育さん

【東京】マラリア制圧に取り組む個人・団体を表彰するNPO法人マラリア・ノーモア・ジャパン（東京）は25日、「マラリア撲滅への挑戦者たち」の著書で、昨年92歳で亡くなった南風原英育さん（元沖縄タイムス専務）と、出版した南山舎（石垣市）に「第4回ゼロマラリア賞」を贈った。本は2012年に出版。自身も沖縄戦中にマラリアにかかった南風原さんが、出身地石垣島の戦争マラリアの実態を丹念に描き、防疫監吏の黒島直規さんらマラリア根絶に尽くした人々の足跡をたどった。

都内であった表彰式で、南山舎の大森一也出版部長（54）は「撲滅には多くの人の労苦があった。（受賞によって）南風原さんの気持ちに報われた」と喜び、著書のタイトルに触れ「南風原さん自身が、撲滅のために挑戦する1人だった」と語った。

南風原さんとともに執筆に携わったフリー編集者の川平いつ子さん（67）は石垣市出身。この本が皆さんの目に留まり、うれしく思う。沖縄の近代医療の参考にしてもらえたら」と話した。

同法人の高木正洋理事は「私たちも賞を贈ることができて誇りに思う。著書は質が高く、感銘を受けた」とたたえた。